



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

Vol.217
令和7年10月号

さまざまなイベントで県産農産物をPRしました！

とちぎライフスタイルフェア2025 お米屋さん体験ブースでPR



9月20日(土)、ライトキューブ宇都宮で「とちぎライフスタイルフェア2025」が開催されました。

当協会は、ママと子どもの人気企画「オシゴトごっこ」のお米屋さんブースとして出展しました。

山下食糧株式会社の代表取締役社長であり、五ツ星お米マイスター、さらに“おにぎりアンバサダー”としても知られる山下治男氏の指導のもと、県内の幼児・小学低学年の約40名の子どもたちが本格的なお米屋さんを体験しました。

精米や袋詰めといった作業に挑戦した後は、県産米「とちぎの星」を使った“ふわふわおにぎり作り”にも挑戦。子どもたちは楽しみながらお米の大切さや美味しさを学び、栃木のお米の魅力を存分に体感しました。



ベリテンライブ2025で「とちぎ和牛」試食PRを実施

9月27日(土)・28日(日)、真岡市井頭公園にて開催された音楽イベント「ベリテンライブ2025」において、当協会では、県産ブランド牛「とちぎ和牛」の試食PRを行いました。

2日間のイベントで、延べ約2,000名の来場者にアンケート及びご試食いただき、多くの方々に「とちぎ和牛」の味わいを知っていただく機会となりました。

また、当日はとち和会の町井幹事、磯野副会長、小池幹事もブースで対応いただき、大いに会場を盛り上げていただきました。

「とちぎ和牛」は、生産者が一頭一頭に心を込めて育て上げた自慢の逸品です。豊かな自然と徹底した管理のもとで育まれたその味わいは、やわらかな食感と深い旨みが特徴で、幅広い世代にご好評をいただいております。今回の試食を通じて、多くの方に「とちぎ和牛」の魅力をお伝えできただけで嬉しい限りです。今後も生産者と共に一層のPR活動に努めてまいります。



各メディアでも県産農産物をPRしました☆



山下治男氏 出演 関西テレビで「とちぎの星」をPR

関西テレビの人気情報番組「よーいドン！」「ちゃちゃ入れマンデー」に、山下食糧株式会社の代表取締役社長であり、五ツ星お米マイスターの山下治男氏が出演しました。

番組内では、栃木県が誇るオリジナル品種「とちぎの星」を紹介。炊き上がりの軽やかさから“奇跡のお米・エアリーライス”と表現され、スタジオでも「最高！」と高い評価をいただきました。

山下さんはこれまで、お米の魅力を広く伝える活動を続けており、今回のテレビ出演は栃木米「とちぎの星」の美味しさを全国にアピールする貴重な機会となりました。

【よーいドン！】 9月5日（金）9:50～11:19



【ちゃちゃ入れマンデー】 9月16日（火）19:00～



滝谷梨絵さん 登場 「女性自身」で「とちぎの星」をPR

人気女性誌「女性自身」に、五ツ星お米マイスターとして活躍中の滝谷梨絵氏が登場しました。

誌面では、栃木県オリジナルブランド米「とちぎの星」の魅力をたっぷりと紹介。炊き上がりのツヤや豊かな甘み、しっかりととした粒立ちの良さが特徴で、和食から洋食まで幅広い料理と相性抜群と高く評価されていることをアピールしました。

また、「とちぎの星」を「日々の食卓を笑顔にしてくれるお米」として読者にPR。誌面を通じて、より多くの方に栃木米の美味しさを伝える機会となりました。

ぜひ誌面をチェックして、「とちぎの星」の味わいを体感してみてください。



令和7年度第2回こんにゃく作況調査を実施

9月10日(水)、当協会は、茂木町・鹿沼市のほ場で今年度2回目のこんにゃく作況調査を行いました。

調査した地域により差はありますが、9月も8月に続き、高温・少雨の傾向が見られたことから、「腐敗病」や「白絹病」といった病気が見られることや、球茎の肥大が遅れ、新球茎肥大倍率が平年を下回るといった結果が引き続き見られました。

なお、調査後もまだ暑く、病気が出やすい時期が続く見込みであったため、薬剤による防除を実施していくことについて、参加者の間で確認し合いました。



掘取り風景



地上部とこんにゃく芋



令和7年度こんにゃく立毛会共進会審査会を開催

9月19日(金)、令和7年度こんにゃく立毛共進会審査会を開催し、JAかみつが・JAはがのの各管内から選ばれた3点のほ場で、立毛の生育や病気の発生、ほ場管理状況等に関する審査を行いました。

この立毛共進会は、本県こんにゃく生産の振興を図る目的で、前回より3年に1度開催するものとしており、前回が令和4年度であったため、今年度の開催となりました。

9月の審査で立毛審査の結果は決まりましたが、10月に掘り取りの最終審査を行い順位が確定します。



ほ場における審査風景



審査会の風景

アスパラガス専門部が現地検討会を開催



9月19日(金)、当協会アスパラガス専門部は、県と共に宇都宮市清原地区の生産者ほ場で現地検討会を行い、生産者および関係機関等から約60名が参加しました。

県が進める「園芸大国とちぎづくり」運動の一環として開催したもので、始めに郡司勝典部会長(JAなすの)が、「県はアクションプランでアスパラガスの生産に力を入れている。県全体で情報を共有して、新技術につなげていこう」とあいさつしました。

現地検討会では、ほ場の持ち主の剛谷純(ごうたにじゅん)氏が、栽培方法で工夫している点や新技術に取り組んだ成果を説明し、参加者からは熱心な意見や質問が出されるなど、有意義な現地検討会となりました。

この現地検討会を契機として、生産者による収量や品質向上に向けた取り組みがさらに高まることが期待されます。



郡司部会長あいさつ



剛谷氏による説明



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん



新たに取り入れた高畝栽培

とちぎの花でスマイルアップ in NHK (9月分)

9月は、バリエーション豊かで、主役にも脇役にもなれる二刀流のスプレーマム、花持ちが良く色鮮やかで小さな花をたくさんつける小菊、宇都宮女子高校の生徒さんが、県産のキクを用いて「重陽の節句」をテーマに、創立150周年を迎えた母校の繁栄を願いアレンジメントした作品、丸みを帯びた葉が可愛らしく、アロマやハーブとしても人気の高いユーカリ、4品目の花等を紹介しました。

◇ NHK総合テレビ 毎週金曜日 「とちぎ630」 (18:30~19:00)



9/5 スプレーマム
JAかみつが栗野花卉生産部会
(日光市)



9/12 小菊
植木 泰史氏 (宇都宮市)



9/19 アレンジメント
宇都宮女子高華道部の皆さん



9/26 ユーカリ
嶋田 義宏氏 (足利市)

令和7年10月に紹介予定の県産花きは、以下のとおりです。

10/ 3(金)ベルギーマム	那須地区
10(金)ガーデンシクラメン	下都賀地区
17(金)高校生 (宇都宮文星女子高校)による フラワーアレンジメント	
24(金)ビオラのフラワーリース	塩谷南那須地区
31(金)パンジー	芳賀地区

10月の予定

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 6日(月) 首都圏メニューフェア産地視察 | (県内) |
| 7日(火) なしがランプリ品質審査 | (市内) |
| 令和7年度花き研究シンポジウム | (県外) |
| 9日(木) 第3回こんにゃく作況調査 | (県内) |
| 14日(火) 令和7年度こんにゃく立毛共進会審査会 | (県内) |
| カーネーション研究会総会 | (県内) |
| 20日(月) 関西圏メニューフェア産地視察 | (県内) |
| 26日(日) にっこり&新米フェア | (市内) |
| 27日(月) スプレーマム研究会役員会 | (JAビル) |
| 鉢物研究会役員会 | (市内) |
| 31日(木)~1日(金) とちぎ食と農魅力発見フェア2025 | (市内) |

